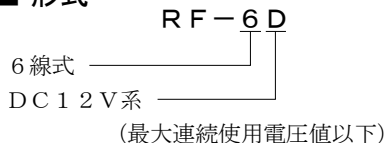


本器は、屋外ケーブルから通過してきた誘導雷サージを吸収しセンサや発信器とその受信機器を保護する高性能避雷器です。

■ 形式



■ 対応規格

JIS C 5381-21 カテゴリC2, D1
RoHS指令適合

■ 性能

最大連続使用電圧 U_c	DC 15V以下	
動作開始電圧	線間	$\pm 16 \sim 20V$
	各線接地間	$\pm 500V$ 以下
電圧防護レベル U_p	線間	$34V_{max} (8/20\mu s)$
	各線接地間	$650V_{max} (8/20\mu s)$
インパルス耐性	カテゴリC2	$8/20\mu s \quad 5kA (10回)$
	カテゴリD1	$10/350\mu s \quad 2.5kA (2回)$
最大放電電流 I_{max}	$6kA (8/20\mu s)$	
静電容量	線間	200pF以下
	各線接地間	3pF以下

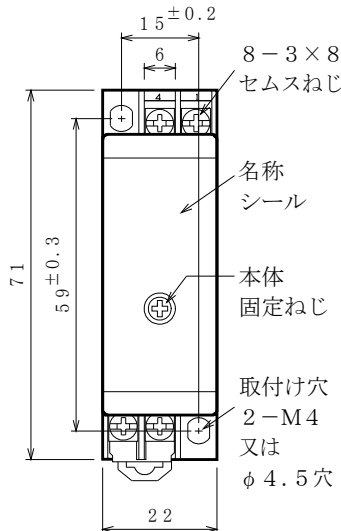
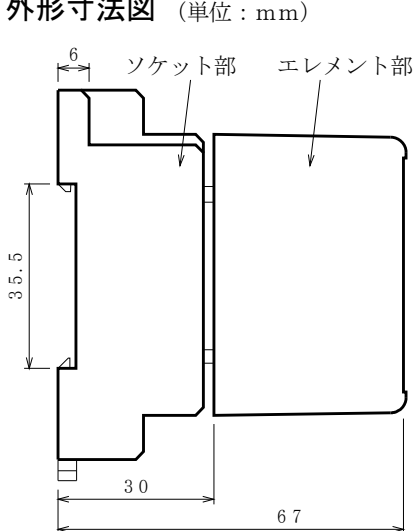
■ 設置仕様

使用温度範囲：-10~+60℃
使用湿度範囲：5~90%RH以下（結露しないこと）
寸法：W22×H71×D67
重量：約60g

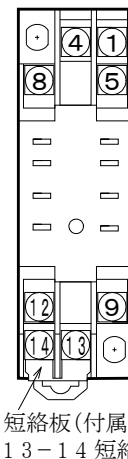
■ ソケット仕様（標準付属品）

形式：PYF08A
構造：プラグイン構造
接続方式：M3ねじ端子接続（締付トルク1.2N・m以下）
端子ねじ材質：鉄にクロメート
ハウジング材質：黒色プラスチック（難燃性）
取付：直取付けまたはDINレール取付け（35mm巾）

■ 外形寸法図（単位：mm）



■ 端子配列



端子名称	番号	符号
ライン	8	L1
	5	L2
	4	L3
	1	L4
電源+極	12	L5
	GND	9
接地 FG シールド	13	E
	14	E

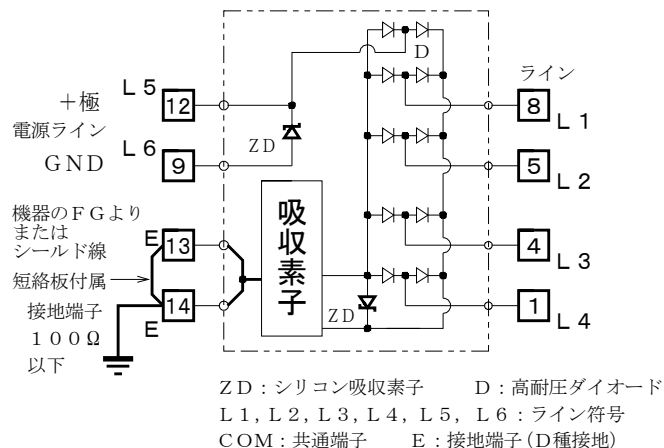
■ 用途

- ・電源+4線式データ回線

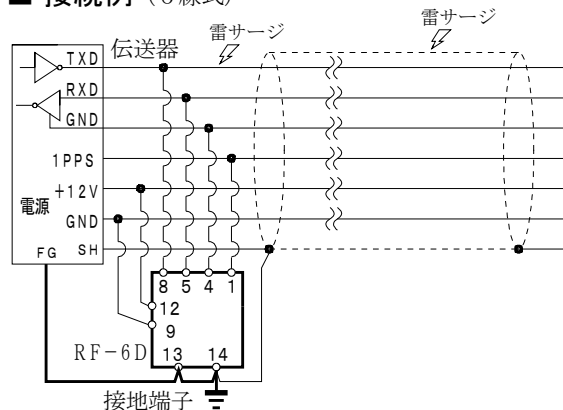
■ 特長

- ・サージ吸収能力が大きく、応答速度が早い。
- ・DINレールに取り付け可能です。
- ・省スペースでしかも軽量です。
- ・エレメント部をはずしても信号は途切れません。

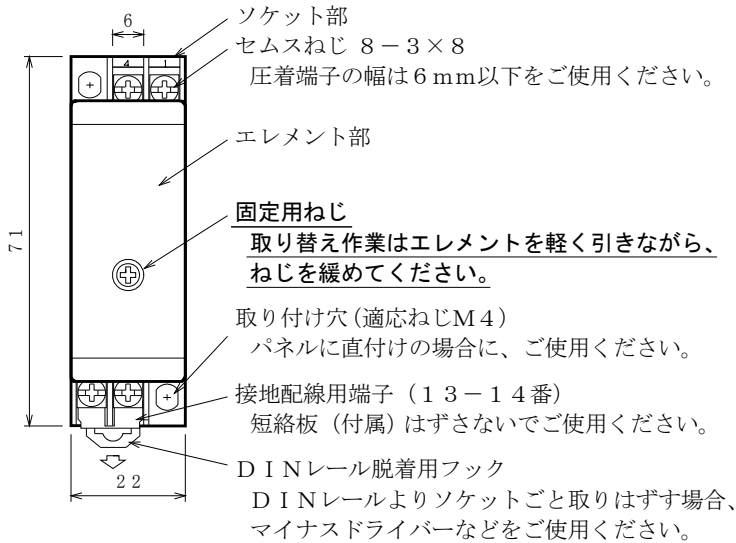
■ ブロックダイアグラム



■ 接続例（6線式）

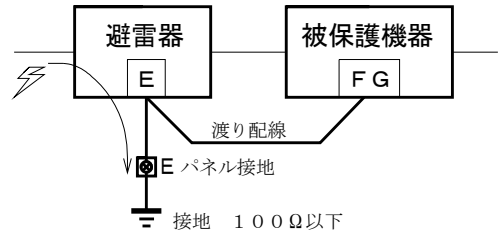


■ 各部名称 (単位: mm)

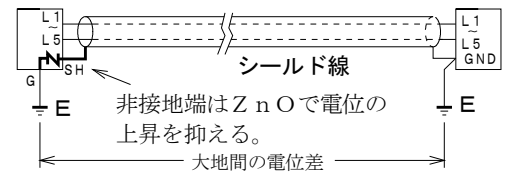


■ 効果的配線

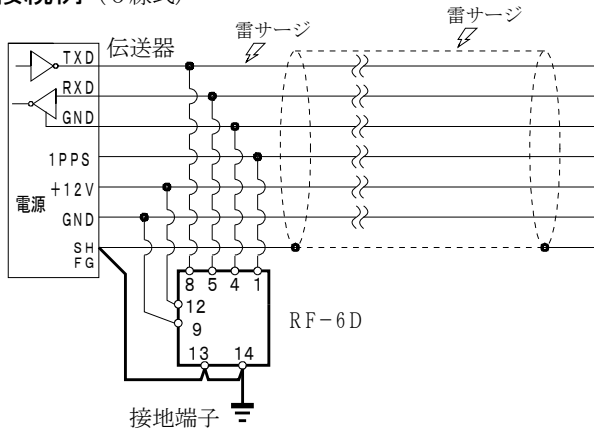
- 保護したい機器のフレームグランド端子を避雷器の端子Eに接続してからパネル接地端子に接続すると被保護機器に誘導雷サージが及ばないようになります。



- 予備線やシールド非接地端の対策も検討願います。放置するとケーブルの浮遊容量により、サージ侵入の大きな要因となります。



■ 接続例 (6線式)



■ 使用上の注意事項

- シリコン吸収素子ZDの故障モードは短絡となります。
- シールド線の両端は、接地接続してください。また、長距離で非接地となる側は酸化亜鉛素子を取りつけると、先端からの放電を防ぐことができます。
- 接地工事はD種接地 (100Ω以下) にて必ずおこなってください。長すぎて余った接地線はループ状にしないで短く配線すること。また、避雷針アースや高圧電力アースとの共用は避けてください。
- 被保護機器の受送信回路にノイズ対策のコンデンサーや低圧のサージアブソーバがある場合、保護しきれないことがあります。
- ネジの緩みがないように注意
雷サージ通過時ネジの緩みによるギャップがあると、接合部で放電を起し高周波および高電圧を発生します。また、避雷器の応答速度の遅れの原因にもなります。
- 設置場所の湿度範囲は90%以下 (結露しないこと) であることをご確認ください。
- 絶縁抵抗試験時および耐電圧試験時には、漏れ電流により不良と見誤ることがありますので、関係先了承を得て避雷器の接地端子接続線を取りはずしておこなってください。

■ 定期点検の方法

- わからない間に誘導雷サージを受けている場合があります。雷シーズンの前後年2回位、定期点検の実施をお勧め致します。交換用避雷器の手配中に被保護機器がサージを受けて破損することも考えられます。予備品の在庫をお勧め致します。
- 避雷器専用の簡易チェッカーCLA-2000 (2000V用) をご使用ください。

■ 保証期間

仕様範囲および正常な使用状態で製造上の故障と認められる場合、1年間とします。ただし、製品の故障や不具合などによる付随的損害の補償については、その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。